

## 函館盲学校と函館聾学校

# 創立130周年の節目祝う

函館市の函館盲学校

（田家町）と函館聾学校（深堀町）の創立130周年記念式典が25日、同聾学校で開かれ、両校の在校生や同窓生、職員ら約200人が節目を祝った。

た。

両校の始まりは1895年（明治28年）に米国人女性のC・P・ドレーパーさんが創設した「函館訓盲会」で、道内の特別支援学校で最も歴史がある。現在は盲学校に10人、聾学校に13人が在籍している。

式典では、盲学校小学部4年の中村柚蒼さん（9）が「勉強を一生懸命頑張って漢字が書けるようになったり、計算ができるようになったりして

うれしい」、聾学校中部2年の福井稜馬さん（13）が「学校が大切にしてくれたことを継承できるよう、一日一日を大切に過ごしたい」と、それぞれ学校生活での喜びや目標を語った。

また、卒業生が学校での思い出を振り返ったほか、教職員対象の手話研修に長年協力する講師らへ感謝状を贈った。

（白石翠）



児童生徒代表も喜びの言葉を語った創立130周年記念式典（金田淳撮影）